



## 環境協定

スキージャム勝山と福井県は、地球温暖化の防止と循環型社会の構築、生物多様性の保全・再生に向けて以下のとおり協働して取り組みます

スキージャム勝山は、次の取り組みを行います。

- 従業員全員によるセイタカアワダチソウなどの外来種植物の一斉駆除作業を行います。また、ササユリ、ニッコウキスゲ、アヤメなど、高原の貴重な在来植物を鳥獣被害から保護し、生物多様性と美しい景観の保全に貢献します。
- クリーンアップふくい大作戦やスマートフォンアプリ「ピリカ」を活用したゴミ拾いに参画し、その活動を広く周知するとともに、社員によるスキー場やホテル周りの日々の清掃活動や緑化活動により、美しい里山の維持に貢献します。
- 勝山で生産された旬の野菜や果物等を利用した料理を提供、販売するとともに、食品輸送の際の温室効果ガス排出削減につながる地産池消を推進します。
- 施設内にペットボトルキャップの回収箱を設置し、「地球環境」と「世界の子供たちの命」を守る、誰もが身近にできる活動として、広く来場者に参加を呼びかけます。
- 来場する県内外のスキーヤー等へ、ディスクジョッキーが「LOVE・アース・ふくい」への参加やエコ活動を推奨するメッセージを伝えるとともに、ホテルやロジ等でも「LOVE・アース・ふくい」のパンフレットなどを活用した温暖化防止の啓発を行います。
- 施設内のレストランでリユース箸を使用し、廃棄物の排出削減に努めます。
- 大型バスの乗務員向けに仮眠所を設け、その利用を呼びかけることにより、アイドリングストップを促進します。
- 従業員に対し、自家用車を積極的に「エコカー」に切り替えていくよう呼びかけ、従業員の温暖化対策の意識向上に努めます。

福井県は、次の取り組みを行います。

- スキージャム勝山の取り組みを支援し、環境保全に関する情報の提供や環境貢献活動の提案等を行います。
- スキージャム勝山の取り組みについて、福井県のホームページに紹介することをはじめとして、積極的な広報を推進します。

協定の有効期間は、平成29年2月23日から1年間とします。

平成29年2月23日

株式会社東急リゾートサービス  
スキージャム勝山統括総支配人

福井県安全環境部長

小杉 正行

清水 英男